

授業科目	整形外科学 小児整形外科（講義・演習、演習・実習）（整形外科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本整形外科学会 整形外科専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	小児先天性疾患
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	講義・演習 月・火 PM6:00～ 演習・実習 月～金 終日
教室	整形外科学研究室	担当者電話番号	086-235-7273
担当教員	【研究科】教授：尾崎敏文，准教授：三谷茂， 【病院】助教：藤原一夫，助教：遠藤裕介		
一般目標	整形外科専門医に必要な股関節疾患、小児整形外科疾患にかかわる知識と技術の習得		
到達目標	1. 股関節疾患および小児整形外科疾患に対し、臨床所見のとりかたや画像診断を習得する。 2. 人工関節、骨切り、装具療法を中心とした治療の実際を習得する。		
講義概要	<p>1) 整形外科診断学講義（講義・演習）（尾崎，三谷，藤原，遠藤） 整形外科専門医に必要な股関節疾患、小児疾患にかかわる知識を習得する。X線、CT、MRIを読影し正確な診断をつけることを学習する。</p> <p>2) 症例検討会（演習）（尾崎，三谷，藤原，遠藤） 毎週火、木曜日朝のカンファレンスにて実際の症例につき学び、自己でも担当症例の提示をおこない、プレゼンテーション方法を習得する。</p> <p>3) 手術（臨床実習）（尾崎，三谷，藤原，遠藤） 変形性股関節症、関節リウマチによる股関節変形に対し人工股関節置換術、骨切り術の理論および手技を習得し、術者としての技術を習得する。</p> <p>4) 学会参加（講義、演習）（尾崎，三谷，藤原，遠藤） 日本整形外科学会、日本股関節学会、日本人工関節学会、日本小児整形外科学会などを中心に参加し、発表もおこなう。</p>		
テキスト・参考書等	整形外科学関連の論文、教材を自主的に検索し、最新の知識を習得する。		
成績評価基準 成績評価方法	講義・演習への参加状況、診療活動での貢献、および演習・実習での成果を総合的に判断する。		
研究活動との 関連	習得した知識・技術を、整形外科学・小児整形外科学の臨床研究に応用する。		

基礎実習	<p>献体を用いた股関節解剖の実習は1年に1度行う</p>
臨床実習	<p>臨床実習は手術のアシスタントとして第2助手よりスタートし第1助手として10例以上を経験してから術者としてのステップを実習する。</p>
症例検討会	<p>症例検討は毎週火曜日と木曜日に行う。</p>
講義日程	<p>講義は毎週月曜日の朝7時半より各疾患と手術方法について行う。</p> <p>2008/4/14: 運動器の基本的診断法と治療法について</p> <p>2008/4/21: 先天性整形外科疾患について</p> <p>2008/5/19: 生体材料と再建</p> <p>2008/10/23: 股関節疾患について</p> <p>2008/12/1: 人工関節置換術</p> <p>2008/12/9: 小児の先天性疾患</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>小児股関節研究会</p> <p>日本小児整形外科学会</p> <p>日本股関節学会</p> <p>日本人工関節学会</p> <p>日本リウマチ関節学会</p> <p>日本バイオメカ研究会</p> <p>岡山THA懇話会</p>